



慶雲寮だより 第137号



今年も養護老人ホームのロビーには笹の葉が飾られました。短冊に想いを込めて：手作りの七夕飾りで賑やかにになりました。七夕の日はあいにくの雨となり、天の川を見ることは叶いませんでしたが、皆さまの願いが届きますように。

七夕行事が過ぎると梅雨が明け、お盆の準備が始まりますね。お盆の時期は地域によって異なりますが、七夕行事とお盆は関りが深いようです。明治時代以前の旧暦では七月十五日を中心にお盆の行事を行っており、現在も七月盆の地域があるようです。七月盆の場合は十五日の約一週間前の七夕頃を目安にお盆の準備を始めることが多く、お墓の掃除や仏具を清めていたそうです。また、精霊が宿る依り代とされていた笹を手にして盆踊りを踊ることもされていたようです。今年も、久しぶりに行動制限を伴わないお盆休みとなります。各地で盆踊りが開催され、多くの方が帰省されることが予想されます。親族や友人との再会も楽しみですが、ご先祖様を供養する良い機会となることと思っております。

さて、夏も本番を迎え、連日の猛暑に身体が悲鳴を上げたりやあしませませんか？冷房の効いた部屋と外気温の差や湿度によって一層身体に負担がかかります。充分な水分、睡眠、栄養とは言いえますが、そんぎゃあに飲んで、寝て、食べてばかりでものお…！まあ、気を付けにやあいけませんよ。

はよー涼しゅうならんかいのお、と思ってる方も多いはず…。

おかげさまで創立50周年 特別企画

(全4回) 第1回

三原慶雲寮は、令和6年5月に創立50周年を迎えます。この50年は高齢者福祉と介護の歴史と非常に重なっています。このように歴史を振り返ることは、私たちの未来を示してくれるものと思います。先人たちのご苦勞や思いを振り返り、これからも未来につなげていければと思います。

創立10周年

昭和49年5月24日に事業開始した養護・特別養護老人ホーム三原慶雲寮は、その創立10周年で昭和59年5月に前田理事長兼寮長がこのような思いを述べています。

- 老人ホームは、過去の養老院的な収容の場から利用施設として生活の場となり、開設以来設備の整備と拡充、人対人の平等な信頼関係の中で明るくのびやかで活力ある施設を目指してきた。
- 生活の場として、入所者の生きがいがづくりと社会の中で開かれた施設となること。そして職員の知識と技術の向上に努めている。



この思いや姿勢は、現在の介護支援が主体となった今の三原慶雲寮でも、大切に受け継がれています。

新人です よろしく



介護員 M・T
ご利用者さま、職員の皆さまが明るく笑顔で過ごせるように精進していきたいです。よろしくお願いいたします。



栄養士 C・N
ご利用者さまが毎日健康で過ごせるように美味しい食事やメニュー作りを考えていきます。



介護助手 N・S
3月から働き始めました。体調に気を付けて休まないように頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



介護助手 H・D
ご利用者さま、スタッフの皆さまのお役に立ちたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



介護員 Y・N
介護員として働かせていただき、3ヶ月過ぎましたが、まだ分からないことも多く、先輩方に助言をいただき頑張っています。少しでも早く業務を覚えて皆さまが安心して生活できるよう努力していきます。

ありがとうございます

令和五年五月から七月までの皆さま方からの厚志を紹介させていただきます。

- ご訪問・ご奉仕
赤石理容院様(糸崎)、小坂町内会文化部様、デリッシュユヘア様(宮浦)
- ご寄付・ご寄贈(感染予防、衛生物品も含みます)
石長正子様(宮浦)、入江一郎様(本郷南)、奥田英治様(古浜)、小坂団地月曜会様(小坂)、上谷敏男様(本郷北)、中本正治様(糸崎)、米持清様(久井)、三原パイロットクラブ様

個人情報保護法に基づき写真等の掲載については、利用者の皆様に同意をいただいております。

— 編集発行 —
三原市小坂町1550

社会福祉法人 **三原福祉会**
養護老人ホーム **三原慶雲寮**
特別養護老人ホーム
デイサービスセンター

☎0848-66-2630 <http://keiunryo.or.jp>

編集後記

三原慶雲寮は山に囲まれているため前から野生動物に遭遇する機会が多くあります。最近は野ウサギが建物裏で食事する姿によく遭遇します。雑草をキレイに食べておくれ、と思うのですが…癒されますねえ。





三原福社会役員

(令和5年6月17日改選)

令和五年六月十七日開催の定時評議員会において三原福社会の役員が選任されました。

- | | |
|-------|--------|
| 理事長 | 木曾 綾夫 |
| 理事 | 二井谷ふみゑ |
| 理事 | 阪田 英世 |
| 理事 | 竹野 健二 |
| 理事 | 應治 美範 |
| 理事 | 住田 博文 |
| (施設長) | |
| 監事 | 川口 陽享 |
| 監事 | 安森 健司 |
| 相談役 | 伊藤 英治 |

施設長就任のご挨拶

住田 博文

平素より三原慶雲寮の運営につきまして、施設ご利用者をはじめご家族、地域の皆様、ボランティアの皆様など、多くの方々に温かいご支援とご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

令和五年七月一日付で三原慶雲寮の施設長に就任いたしました住田でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本年五月には、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行され、日常生活がコロナ前の状態に戻りつつあります。三原慶雲寮でも面会制限の緩和など一定の取り組みを進めておりますが、教育機関や職員の家族等、身近な環境にはまだまだコロナ陽性者も見受けられることから、やむを得ず夏祭りや盆踊りなど夏季の施設行事開催を見送ったところであります。

このような緩和と制限のバランスに苦慮しながらも、ご利用者様を感染させないために職員の感染予防対策はもちろんのこと、感染源を持ち込まないための最大限の努力を継続しておりますので、皆様のご理解をお願い申し上げます。

さて、来年は「社会福祉法人三原福社会」の創立五十周年という節目の年を迎えます。法人創立以来、先人の方々が培って来られた知識や経験、伝統を継承しながら、次の百年に向けて新たな時代の流れに的確に対応できる法人として発展し続ける必要があります。

近年、老人福祉施設を取り巻く環境は大きく変化していますが、三原慶雲寮が施設の利用者様、家族の皆様、地域の皆様、そして職員にとって心の拠り所として在り続けるよう、誠心誠意、職務に精励して参る所存でございます。今後とも皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。施設長就任のご挨拶とさせていただきます。

退任のご挨拶

末久 昭人

盛夏の候、皆さま方におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、私事ではありますが、六月三十日をもって三原慶雲寮の寮長の職を退任いたしました。

平成二十九年四月に事務長として未経験の老人福祉の世界に入り、元寮長(現在の理事長)様をはじめ多くの皆さま方のご指導をいただきながら勤めてまいりました。その後、平成三十年七月から施設長を拝命いたしました。その後、平成三十年七月から施設長を拝命いたしました。その後、平成三十年七月から施設長を拝命いたしました。その後、平成三十年七月から施設長を拝命いたしました。

この間、わが身を犠牲にするようなひたむきな職員の働きをはじめ、多くの皆さま方からの度重なるご助言やご指導、そして温かい激励のお言葉などを伺ったことにより、この激動の五年間を何とか乗り越え、次の施設長にバトンを渡すことが出来たと思っております。

特に、コロナ感染症の感染拡大防止のための面会制限を行い、終末期の利用者様とご家族様が共に過ごす人生最後の貴重なひと時を十分に提供できなかったことが最も残念な出来事でありました。

これからは非常勤顧問として、大変微力ではありますが、新施設長の下支えを行い、皆さま方から頂きましたご指導、ご援助に対しまして少しでもお役に立つよう努めさせていただきます。これまでにお礼申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。